

日付 2025年10月14日

未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で承認された治療法

当院の未承認新規医薬品・医療機器評価委員会にて、下記の治療法が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、診療において不利益を被ることはありません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

実施内容	フルオレセインを用いた脳腫瘍の術中認識法
実施責任者	三重大学医学部附属病院 病院長 佐久間 肇
対象者	脳腫瘍の患者
承認日	2025年10月14日
対象期間	承認日から永続的に使用
概要	<p>【目的・意義】</p> <p>脳腫瘍を摘出術において正常組織を残して摘出術を施行する必要がありますが、実際は肉眼的に脳腫瘍と正常脳組織の境目を判別することが困難な場合が多いです。脳腫瘍を疑う部位（MRIで造影される部位）に特異的に染色される造影剤であるフルオレセインを手術中に投与することにより、その組織と正常脳組織を肉眼的に色調で見分けるために投与を行います。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>薬剤による副反応が考えられます。以下代表的なものです。</p> <ul style="list-style-type: none">消化器症状：恶心・腹痛（5%以上または頻度不明）、嘔吐（5%以下）神経系症状：めまい、頭痛（0.1%未満）・ショック（0.1%）・アナフィラキシー（頻度不明）：発赤、そう痒感、胸内苦悶、血圧低下、顔面蒼白、脈拍異常、呼吸困難、意識消失等の症状があらわれることがあります。頻度は不明ですが心停止に至ることもあります。 <p>適宜対症療法を行います。</p>
お問い合わせ先	三重大学医学部附属病院 総務課 総務係 代表 059-232-1111（内線 6293）

以上